

船舶事故調査報告書

令和2年6月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和2年2月4日 16時35分ごろ
発生場所	沖縄県竹富町黒島北方沖 黒島灯台から真方位001° 4.0海里付近 (概位 北緯24° 17.1′ 東経124° 00.3′)
事故の概要	旅客船うみかじ2は、航行中、浅所に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和2年2月10日、主管調査官（那覇事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	旅客船 うみかじ2、120トン
船舶番号、船舶所有者等	134643、有限会社安栄観光
乗組員等に関する情報	船長、六級（航海）
負傷者	なし
損傷	プロペラ翼に曲損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の初期 太陽の高度及び方位：高度 24.2°、方位 237.2°
事故の経過	本船は、船長ほか2人が乗り組み、旅客14人を乗せ、浅所が多数存在する黒島北方沖を西進中、船長が、太陽光が反射して船首方の海面が見えづらく、ふだん右舷船首方に見る浅所を示すオレンジ色のブイを見失った後、減速して確認したところ、同ブイが左舷船首方に見えたので、左舷方の予定針路に戻そうとGPSプロッターで船位及び浅所の位置を確認しないまま左舵を取ったところ、浅所に乗り揚げた。 本船の喫水は、船首、船尾共に約1.9mであった。
分析	本船は、浅所が多数存在する海域を西進中、船長が、太陽光が反射して船首方の海面が見えづらい状況下、浅所を示すブイを見失った後、自船の位置が分からないまま左舷方の予定針路に戻そうと左舵を取ったことから、浅所に向かう針路となっていることに気付かず、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、浅所が多数存在する海域を西進中、船長が、太陽光が反射して船首方の海面が見えづらい状況下、浅所を示すブイを見失った後、自船の位置が分からないまま左舷方の予定針路に戻そうと左舵を取ったため、浅所に向かう針路となっていることに気付かず、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 浅所が多数存在する海域を航行する際、自船の位置が分からなくなった場合、停止して船位を確認すること。・ 航行中、太陽光の反射で海面が見えづらい場合、サングラスを使用して操船すること。 |
|--|---|